

## 監修のことば

---



近年の日本はいろいろな自然災害に見舞われている。雲仙普賢岳噴火（1990—1995）、北海道南西沖地震（1993）、平成5年8月豪雨（1993）、1993年の冷夏、1994年の猛暑など、いずれも大きな被害を出した。そしてきわめつけは1995年1月17日の阪神・淡路大震災を引き起こした兵庫県南部地震で、5,500人を超える死者が出た。目を外国に転じてもほとんど連日地震、火山噴火、ハリケーン、洪水、竜巻などの災害が新聞紙上に報じられている。このような自然災害に立ち向かって人々の生命・財産を守るためには、世界の災害の実情を広く知ることが大切であると考えられる。

この本には、近代世界における自然災害の様相をケース・ヒストリー風に述べるとともに、現象を理解するための詳しい解説を載せてある。地震、津波、火山、気象、土砂災害はもちろん、最近問題となりつつある環境や宇宙・地球規模の災害のほか、磁気嵐に伴う災害なども取り扱っていて、それぞれの分野での第一人者といえる専門家に執筆をお願いした。

現在、国連総会の決議による「国際防災の10年」（International Decade for Natural Disaster Reduction, 略称INDNDR）が行われていて、その期間は1990～2000年である。中間年にあたる1994年には、国際会議が横浜で開催され、148カ国から約5,150人が参加した。世界の自然災害による被害は、今世紀だけでも死者400万人、直接被害額900億ドルに達しているとされ、特に発展途上国における被害が大きいことが目立つ。

災害対策先進国とされている日本は、そのノウハウを途上国の防災に役立てることができはざである。しかし注意しないと、生活レベルや国の経済力の違いのために、日本での対策が必ずしもそのままでは機能しない恐れがある。いずれにしても、国内の災害対策を充実することはもちろんであるが、国際的にもソフト及びハード面で防災に貢献すべきであろう。

一般の方々に本書を読んでいただいて、自然災害の様相を正しく認識してもらうことは大切なことであるが、特に国・地方自治体・市町村および企業の防災担当の方々がグローバルな眼で自然災害を検討されるのに本書が役立つことを望みたい。

1995年11月

力武常次

## 近代世界の災害

定 価 17,000 円 (本体16,505 円)  
発 行 日 1996 年 (平成8年) 1 月9日初版発行  
監 修 東京大学名誉教授  
力 武 常 次  
編集・発行 有限会社 国会資料編纂会  
〒162 東京都新宿区下宮比町 2-28-917  
TEL. 03-3235-1382 FAX. 03-3235-1698  
印 刷 長野印刷商工株式会社  
製 本 有限会社 笠松製本所

ISBN 4-906474-04-7 C0044 P17000E

本書の無断複写・転載を禁じます。

落丁・乱丁本などの不良品はお取り替え致します。